

# 国際デザインコンペティション2008 応募要項

主催：財団法人 国際デザイン交流協会（JDF）

共催：独立行政法人日本貿易振興機構（JETRO）

## [趣旨]

国際デザイン交流協会(JDF)は、JDFの基本理念である「生あるものためのデザイン：Design for Every Being」に基づき、人類の近未来に対する生活ビジョン提示を狙いとした「国際デザインコンペティション2008」を実施いたします。

今日ほど、「複合的な社会的課題に対する新しいソリューションの提示」が望まれている時はありません。まさに、「デザインが活躍すべき時代」と言えます。

人類の近未来生活への構想力、及び、実現可能な技術背景、そして、これらの美学的な解決としてのデザイン提案を広く世界に求めたいと考えます。昨年に引き続いて、2008年度の国際デザインコンペティションは世界からの応募者にとってデザイナーとしてのキャリアアップに繋がる運用を推進し、受賞者に、よりスポットがあたる国際デザインコンペティションの実現を目指します。

また、優秀作品及び優秀提案者を産業界、デザイン界、教育界、自治体等、幅広い分野の人々に積極的に紹介し、製造業や流通業の企業から広く商品化に向けてのアドバイスを得る機会を設けます。

世界の多くの方々から募集意図を反映した質の高い提案が応募されることを期待しております。

## [1] テーマ

### 「設定背景」

今日、エネルギーの過剰消費をはじめとする地球環境を脅かす様々な問題が生じており異常気象や地球温暖化がもたらす生態環境の悪化は地球規模の緊急課題となっています。今日まで我々の生活を支えてきた社会システムや技術システムはほころび、安全で安寧であるべき人々の「生活の場」を不安で不安定なものとし、健康や安全・安心、持続可能な快適性などに対する生活者ニーズを大きく喚起しています。

2008年度は募集テーマを「地球生活」とし、人類が生まれた、生活の基盤であるこの美しくかけがえのない生命体である地球を、どうすれば次の世代へと引き継げるのか、今日我々が直面しているあらゆる環境負荷を、生活の中で如何に改善し、持続性のある豊かで快適なライフスタイルへと誘う商品、システム、ビジネスモデルなどについて独創的で多様な提案を募集します。

本来必要とされる社会のあり様を提示できるデザインの力が十分発揮され、かつ、「エコデザイン」や「サステイナブルデザイン」「ユニバーサルデザイン」、自然界の仕組みに学ぶ「バイオミクラー」といったデザインの考え方を踏まえたデザイン提案を募集いたします。なお、デザイン提案の産業界での効率的な活用促進を図るため、具体的に3つのサブテーマを設定します。

## 募集テーマ 「地球生活」

サブテーマ

### 1. Clean AQUA

浄化や節水、水質や循環の適正化、水辺の環境、暮らしの中でのユニークな活用アイデアなど、水に纏わる課題に対し、システムや身近なアイテムなどの提案を幅広く募集します。

### 2. Clean AIR

温室効果ガスを排出しない社会構造・生産活動への転換、清々しい空気に包まれた生活のための活用アイデアなど、空気に纏わる課題に対し、システムや身近なアイテムなどの提案を幅広く募集します。

### 3. Clean ENERGY

省資源・省力、排熱の抑制、再利用、代替・転換、生活者意識変革といったエコロジカルな社会構造・生産活動への転換、利便性や快適性はそのままに環境負荷を抑えた生活を具現化するアイデアなど、エネルギーに纏わる課題に対し、システムや身近なアイテムなどの提案を幅広く募集します。

#### [2] 応募資格

全世界のあらゆる分野のデザイナー、技術者、学生などが、個人又はグループで応募できます。

ただし、コンペティションの主催者（当協会及びジェトロの役・職員）、審査員、それらの家族、並びに主催者及び審査員のいずれかと共同制作した人は、応募資格がありません。

#### [3] 応募作品

##### [3-1] 提案分野

テーマに基づく応募作品は、特定のプロダクトの提案だけではなくサービスやシステム、さらにはビジネスモデルの提案も歓迎します。

##### [3-2] 応募作品の新規性

応募作品は新たに創作したもので、未発表のものに限ります。「未発表」とは下記の条件を満たすものを言います。

- ・製品化されて市場に出回っていないこと
- ・販売等を目的として公表されていないこと
- ・新聞・雑誌・Web等に掲載されていないこと  
(ただし知的財産権確保のための特許公報などへの掲載は「未発表」として扱います。)
- ・上記「未発表」の時期的条件は、協会による公式の審査結果発表までとします。

##### [3-3] 応募点数

応募者一人（或いは一グループ）につき各サブテーマ各1点を上限として応募できます。

なお、複数のサブテーマに類似の作品を応募することはできません。

#### [4] 応募方法

##### [4-1] 作品応募

作品応募は、JDF ホームページ専用サイトからの応募のみといたします。

##### [4-2] 作品

作品はJPEG ファイル5枚以内（静止画像）とします。プロダクトアイテムには物品のディメンジョンを明記して下さい。詳細は専用サイトを参照して下さい。

##### [4-3] 審査用出品票

専用サイトの出品票に所定の事項を記入してください。

必要事項の記載が満たされることを条件に、応募作品のデータ送信が可能となります。必須項目として「提案の内容」「提案の実現性に対する考え方」などがあります。

なお、グループで応募する場合は、応募者氏名の欄に連絡先として代表者1名を選定して記入し、共同創作者の欄には代表者を除く創作者全員の氏

名を記入してください。

出品票に使用する言語は、日本語、または英語に限ります。

#### [4-4] 出品料

作品応募に際して、1 作品毎に 20US ドルが必要です。出品票記載の際、Web 上での電子決済とします。

(詳細は作品応募専用サイトを参照して下さい。)

#### [4-5] 作品受付期間

応募作品受付開始日は、**2008 年 8 月 4 日 (月)**

応募作品受付締切日は、**2008 年 9 月 5 日 (金)**

応募作品締切日までに必ず JDF のホームページ上で Web 応募をお願いします。

#### [5] 作品の受理通知

審査用作品の受理は、応募送信終了後、受理番号とともに速やかに返信される E-mail をもって受理通知とします。以後、受理に関する問い合わせ等にはお答えできませんので、ご注意ください。

(注意)

受理通知は自動送信されます。近年のネットセキュリティ強化のためプロバイダーにより、自動配信されたメールを迷惑メールと見なし、受信側で自動的にゴミ箱に格納されるよう対策しているケースがありますのでゴミ箱のチェックをお勧めします。

#### [6] 日程

2008 年	8 月 4 日	作品受付開始日
	9 月 5 日	作品受付締切日
	10 月 8 日～9 日	作品審査会
	11 月下旬 (予定)	表彰・招待イベント
2009 年	2 月 (予定)	デザインマーケット

審査結果は、2 月下旬に JDF 及びジェトロのホー

ムページにおいても告知します。

#### [7] 審査

##### [7-1] 審査方法

ビデオプロジェクター及び PC を使用して作品ごとに映写する等により審査し、審査基準([7-3] 参照)に則ったポイント評価を行います。

同時に、主催者側で知的財産に関する調査を行い審査に反映いたします。

##### [7-2] 審査プロセス

作品審査会にてビジネスコミュニケーションの対象となる優秀作品を選定し、さらに上位の入賞作品を決定いたします。

##### [7-3] 審査基準

- ①社会及び時代への視点の的確性
- ②独自に創作された新規性及び審美性
- ③実現化技術や素材への提案性
- ④事業化に向けた有用性・実現性

##### [7-4] 審査員

テーマに即したデザイナー、有識者等で構成する審査団により審査を行います。審査員が確定次第、JDF ホームページで告知します。

##### [7-5] 審査結果通知

審査の結果は、応募者全員に審査評価を添えて E-mail で通知します。

#### [8] 賞

##### [8-1] 入賞

経済産業大臣賞	1 点
大阪府知事賞	1 点
大阪市長賞	1 点
協会会長賞	複数点

##### [8-2] 入賞特典

・大阪で実施する表彰式イベントに招聘いたします。渡航航空賃(日本国内居住者は国内交通費)・滞在費は協会が負担します。(グループで受賞の

場合は代表者1名分負担) 詳細は別途当該者に連絡します。

・同時に大阪で開催される国際デザイン会議に招待し、会議プログラムとして行われる入賞作品プレゼンテーションを実施し、デザイナーとして世界のデザイン関係者にアピールできる訴求の場を提供します。

・この際、参加入賞者全員に招聘記念品を贈呈いたします。

・前後して実施される国際フォーラムに招待し、著名デザイナーや企業家とのホットコミュニケーションに参加していただきます。

・JDF の国際デザインコンペティション入賞者で構成するデザイン人材アーカイブ「JDF デザイナーズプラザ」に個人プロフィールとともに登録し、栄誉をたたえます。

・後日実施する「デザインマーケット」(「10」参照)に参加できる可能性があります。

## [9] 表彰

表彰式は、2008年11月下旬に大阪において行う予定です。

### [10] デザインマーケット

#### [10-1] デザインマーケット作品モデル

審査プロセスにおいて選定された優秀作品の中から、よりビジネスコミュニケーションに適した作品を選定し、選定者の協力を得て具体的な3Dモデルを協会が作成します。この経費は協会が負担します。

#### [10-2] デザインマーケット

協会はビジネスコミュニケーションを促進するために3Dモデルを主体とした「デザインマーケット」を実施いたします。このイベントに選定者を招聘いたします。渡航航空賃(日本国内居住者は国内交通費)・滞在費は協会が負担します(グル

ープの場合は代表者1名分負担)。詳細は別途当該者に連絡します。

創作者自身による作品プレゼンテーションを実施し、商品化に関心を持つ企業とのコミュニケーション機会により、ビジネスの視点から作品の評価とともに、商品化の機会が得られます。

同時に、優秀作品は全てパネル展示され産業界に紹介されます。

#### [10-3] ビジネスコミュニケーション認定書

「デザインマーケット」においてビジネス界から評価された選定作品に対して、選定者にはJDF「ビジネスコミュニケーション作品認定書」を授与いたします。

## [11] 広報

入賞作品および優秀作品は、創作デザインの寄託後、JDF及びジェトロのWebサイト、刊行物等で公表されます。

## [12] JDF デザイナーズプラザ

入賞者は、JDFの国際デザインコンペティション入賞者で構成するデザイン人材アーカイブ「JDF デザイナーズプラザ」に個人プロフィールとともに登録されます。

入賞選定されたデザイン・人材の今日情報を、広く内外に継続的に広報いたします。

## [13] 諸権利

\_すべての応募作品の日本および世界全ての国の著作権及び工業所有権等、知的財産に関する権利は、応募者にあります。従ってこれを保護する責任は、応募者自身にあります。

\_作品を発表することにより、その作品の新規性が失われることのないよう、必要に応じて適時に意匠権登録等の手続きを済ませてください。

\_作品に他人の写真、印刷物を使用する場合、著

著作権の問題が発生しないように注意してください。  
\_ビジネスサイドとのコミュニケーションを推進するにあたり、対象作品については日本の意匠登録出願の際に「新規性喪失の例外」措置の証明となる創作デザイン寄託を日本デザイン保護協会（JDPA）を通じて主催者が行います。

なお、この寄託は法的な権利化ではなく、デザインの保護管理手段のひとつとして利用することができることに注意してください。

\_ビジネスサイドとの商品化推進のために応募作品受領後、2009年3月末までの間は主催者が商品化支援の専有権を保有し、他のビジネスサイドとの交渉行為を禁じます。

この際、作品の修正等に関する権利は創作者の許諾を前提に主催者が保有します。

\_応募作品の展示及び出版に関する権利は、主催者が保有します。

\_応募出品票に、諸権利に関して同意事項が記載されています。ご熟読の上、同意をお願いします。

#### [14] 欠格事項

次の事項に該当する作品は、審査対象から除外され、或いは受賞発表後であっても受賞を取り消されることがあります。

1. 応募手続に関する諸規定に反する作品
2. 氏名等の応募者を識別できる文字、記号等を記入し匿名性に反する作品
3. 他のコンペティションで受賞した作品、又は受賞が明らかになった作品
4. 既発表のデザインと同一、または類似のデザイン
5. 他の著作権、工業所有権等の侵害が明らかとなったもの
6. 提出された作品について展示や出版物、インターネット等で公表することを拒否するもの

[15] 応募要項等についての問い合わせ先  
国際デザインコンペティション 2008 事務局まで  
E-mail で問い合わせてください。

電話による問い合わせには、応じられません。

FAX : 06-6346-2615

E-mail : compe2008@jdf-compe.com

財団法人国際デザイン交流協会

〒530\_0001 大阪市北区梅田 1 丁目 3\_1\_800

大阪駅前第 1 ビル 8 階